

# 孤立社会を越える「非家族ネットワーク」の青写真：日台比較が警告する日本日本の未来と、Well-being向上のための処方箋

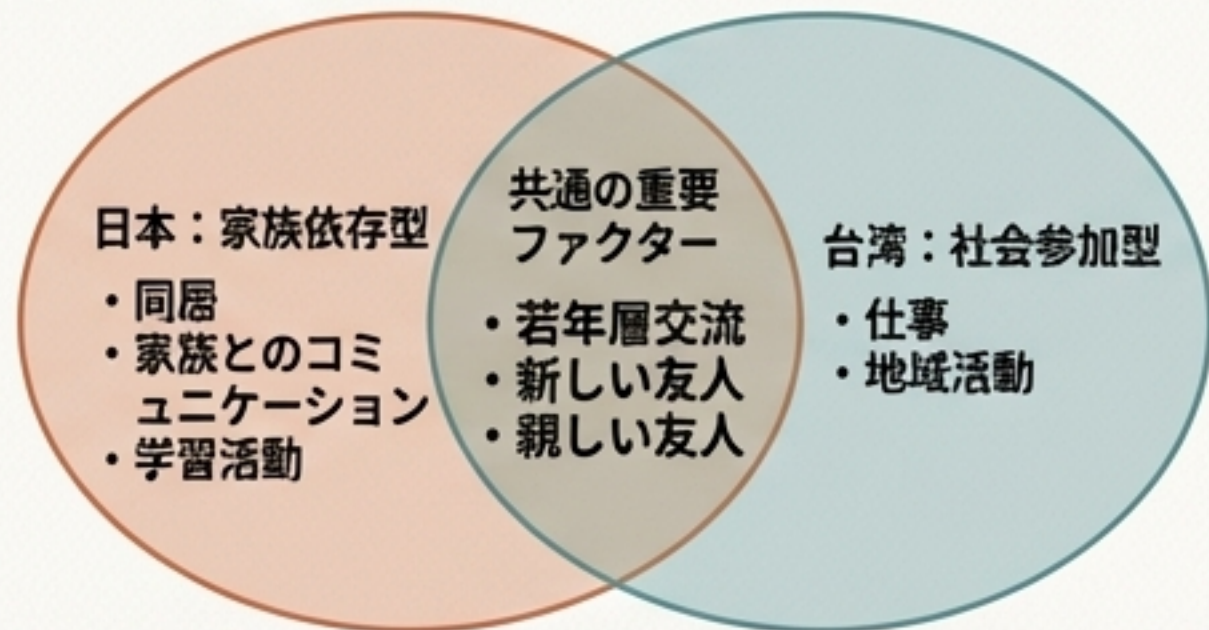
## 1. 課題と背景



必須課題：Well-beingを支える「社会的ネットワーク」の構築

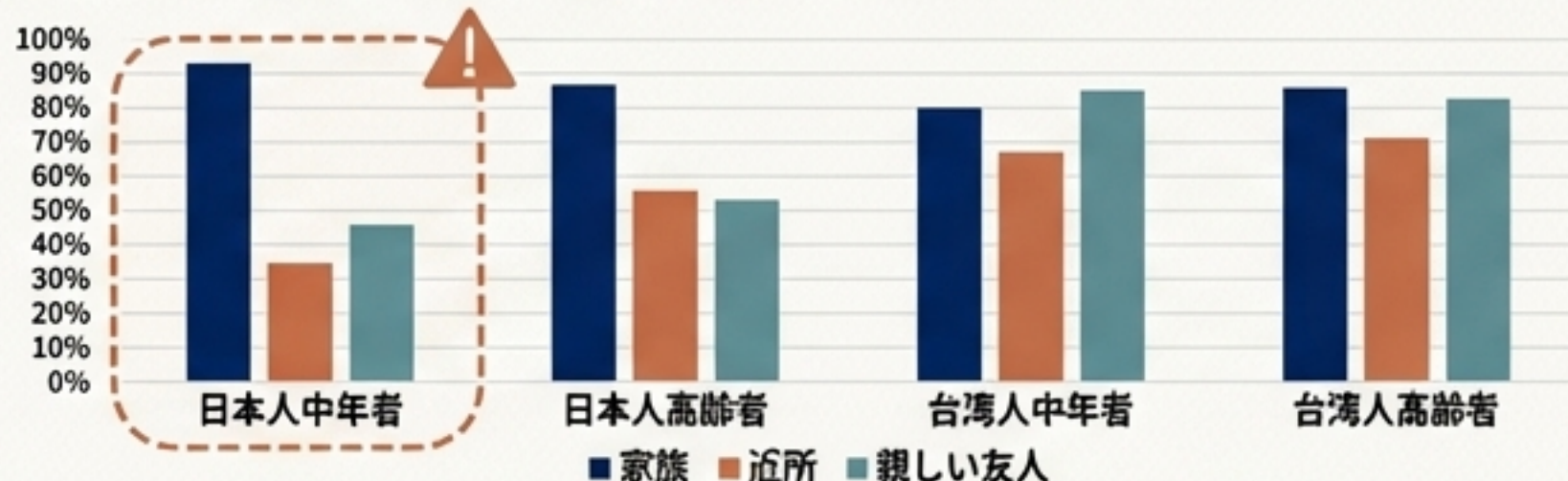
- 目的：少子高齢化を抱える「台湾」との客観的比較を通じ、Well-being低下の原因分析と解決策を模索する。
- 調査対象：日台の40～64歳（中年）および65歳以上（高齢者）計240名（Webアンケート）

## 2. 比較診断マトリクス



日本は「家族」への依存度が高く、台湾は「仕事・地域」との結びつきが強い。しかし、両国ともに「若者や友人との交流」がWell-being向上の鍵となる。

## 3. 核心となる洞察：非家族ネットワークの欠如



【警告】日本人中年層における「非家族ネットワーク」の著しい欠如。

中年から高齢への移行期に台湾のようにコミュニケーション頻度が維持されない場合、「将来の日本人高齢者は、現在の高齢者よりも低いWell-beingしか享受できない」という時限爆弾を抱えている。

## 4. 戦略的アクションと実践提案



【フォーカスエリア】非家族ネットワークの中核として「若年層交流」に特化。

【具体的実践】過疎の町「S町」でのパイロットプロジェクト提案。

【仕組み】『高校生をリーダーとした高齢者との交流』。若者の活力を地域社会に注入し、世代間の断絶を繋ぐ新たなセーフティネットを構築する。